

神楽



野島神楽(宮崎市)

宮崎県武道館 伝統芸能祭り

臼太鼓



宮崎商業高校箏曲部

琴



青島臼太鼓(宮崎市)



宮崎県武道館

日時：平成24年3月3日(土) 13:30~

場所：宮崎県武道館 入場：無料 ※駐車料金 普通車300円

出演：野島神楽・青島臼太鼓踊り・宮崎商業高校箏曲部

TEL：0985-58-5151 主催：財団法人宮崎県スポーツ施設協会

出演団体紹介

宮崎商業高校箏曲部

高文連全国大会では2年連続で宮崎県代表に選ばれた実績もあり実力は大人顔負けです。

現在の部員数は、2年生1名・1年生9名の10名で活動中です。

部員の9割を占める1年生は、まだ琴を始めたばかりですが、みんな1年間で目覚ましい上達をしています。

青島臼太鼓踊り

青島臼太鼓踊りは、飢肥の領主伊東祐兵が、豊臣秀吉の命により朝鮮出兵に従軍した際、敵を威嚇し、味方の士気を鼓舞するために踊った名残りとして伝えられています。平部僑南著『日向纂記』には、宝永4（1707）7月4日に飢肥城下盆踊りとして公許され、以後毎年7月14日～15日に踊られるようになったという記述があります。

県内には数多くの臼太鼓踊りが存在しており、扮装・芸能形態・由来等において共通点も少なくありません。しかし、その中で、青島臼太鼓踊りは、踊り手が面組と太鼓組に分かれること、面組が鬼面紙蓑をつけ黒杓子と播粉木を持つなどの特色をもっています。

毎年、青島地区の八月祭で大將軍神社に奉納され、唄や鉦、太鼓の囃子に合わせて勇壮に踊られます。

野島神楽

浦島太郎伝説が残る野島神社に伝わる「野島神楽」は、四百五十年の伝統を誇り、3月20日の春の例祭に奉納されていたが、戦後は早期水稻栽培の普及に伴い、11月23日の秋の例祭に行われるようになり、地区を挙げての行事になっています。

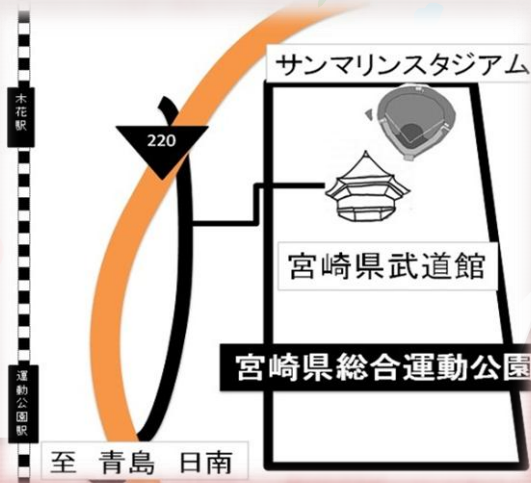
野島神楽は伊勢神楽の系統で「降臨の舞」と「里舞」との舞より成り立ち、四方を踏むことが基本と言われ、また太鼓の音も「六調子」のリズムが基本で勇壮活発な舞となっています。


お問い合わせ

宮崎県武道館

宮崎市大字熊野2206-1

電話0985-58-5151



指定管理者：  財団法人宮崎県スポーツ施設協会